

第1回 古河ケーブルテレビ放送番組審議会

議事録

1. 開催日時 2017年10月5日(木) 11:30～13:00

2. 開催場所 古河市地域交流センター はなももプラザ

3. 出席委員 審議委員総数 7名
出席委員数 6名

■出席者(敬称略)

青木 善和 委員代理 (古河市副市長)

川島 正廣 委員代理 (古河商工会議所副会頭)

峰 英雄 委員代理 (古河市商工会副会長)

中山 道夫 委員 (茨城西南地方広域市町村圏事務組合
消防本部消防長)

今泉 房雄 委員代理 (茨城むつみ農業協同組合常務理事)

石井 慎太郎 委員 (古河青年会議所理事長)

■古河ケーブルテレビ株式会社 出席7名

小林 康行 (代表取締役)

高田 光浩 (取締役 兼 ケーブルテレビ(株) 代表取締役社長)

大川 進 (統括部長)

海老原 正人 (営業技術課課長)

野崎 圭一 (営業技術課主任)

根岸 祐介 (営業技術課)

鈴木 佐登美 (営業技術課)

4. 審議会会長、副会長の互選

事務局提案のもと会長に針谷力委員(古河市長)、副会長に蓮見公男委員(古河商工会議所会頭)、同じく副会長に石川康夫委員(古河商工会会長)が選出されました。

5. 報告事項

①古河ケーブルテレビに関する報告

②コミュニティチャンネルに関する事項

6月まではショッピングチャンネルがほとんどでしたが、7月に「週刊古河タイム（毎週水曜日お昼12時更新）」「まるごとKOGA（毎週土曜日18時更新）」を放映し、まずは地元の情報や近隣の番組をお届けする編成にしました。10月からはコミュニティチャンネル100%（6:00～24:00）の編成にしました。取材されても短い時間でしか放送されないことへのご要望にお応えすべく、収録した内容をなるべく長い時間楽しんでいただく番組にしています。「ももくまネット」は近隣の局の番組や全国のケーブルテレビ局の番組を放映しています。また、茨城県からのお知らせは県内ケーブルテレビ4局で協議会を作り、多くの県民の方にみえていただく番組作りをしています。

6. 審議事項

①ご視聴番組に対してのご意見・ご質問

- ・週刊古河タイム（2017年9月6日放送）
- ・第12回 古河花火大会生中継（2017年8月5日放送）

②コミュニティチャンネルに関してのご意見・ご質問

【質問・回答】

以下、古河ケーブルテレビはKGCで表記

(委員) 加入時からするとコミュニティチャンネル（地上デジタル11ch）を少しずつ見なくなってきた。理由としては「地元ニュースの時間が短い」「同じ番組が多い」などがある。多チャンネルは契約したらどこの部屋でも見られるようにならないか。

(KGC) 多チャンネル視聴はチューナーが必要ですが、最近、各部屋でインターネット経由で見られるようになってきています。来年は最新の機器を導入しインターネット環境でもご覧いただけるサービスを検討していきたいと考えています。

(委 員) 加入世代別を教えてください。

(KGC) 30代以降のご利用が多い状況ですが、10代、20代の若い方にも古河ケーブルテレビを理解してもらいたいと思っています。なお、本社（ケーブルテレビ株式会社、栃木県栃木市）では、小学校からの取材を多くしたり、社会科見学にも来ていただき、将来ケーブルテレビ局で働きたいというご意見もいただいています。

(委 員) 震災時の電柱、ケーブルテレビサービスの復旧に対してはどのようにしているか。

(KGC) 東京電力、NTTの電柱が倒れた時に備え、今後は無線のサービスも展開していくことを予定しています。本社では現在準備中ですが、災害時には避難所に無線で情報をお届けしたいと考えています。無線につきましては、今後4～5年で計画し古河市様にもご協力の相談をさせていただきたいと考えています。

(KGC) 来年はFTTH（お客様宅まで光ファイバーで接続する方式）を整備し、局側にも発電機を設置していきます。

(委 員) ぜひ、来年光ファイバーによるサービスを実現してほしい。

(KGC) 本社は25年前に開局し、おかげさまで北関東一番の局になりました。地域で応援してもらっており、KGCも地域の皆様に応援してもらえるように精一杯努力して参ります。ご協力の程よろしく願いいたします。

(委 員) 約10年前から、交通安全運動の取材をしてもらっている。私が住んでいるのは現在サービスエリア外、エリア内で古河ケーブルテレビに加入している人から「見たよ」などのご意見をいただく。私が住んでいるところにも光ケーブルを引いてもらえるよう期待している。

(KGC) 今後、月2～3本は総和地区の情報を放映していく予定です。
また、総和・三和地区に光ファイバー施設を敷設後は更に情報を増やして予定です。

(委員) 豪雨、冠水、避難勧告情報をリアルタイムで流してほしい。
また、地区単位での放映もしてほしい。

(KGC) 来年の春に緊急放送ができる放送機器導入を予定しています。
コミュニティチャンネルに回してもらおうと緊急放送が見られるようにしていく予定です。本社は市内にライブカメラを設置しており、サブチャンネルでリアルタイムの映像が見られるようになっています。古河市の河川の映像もコミュニティチャンネルでリアルタイムに見られるようにしていきます。また、スマホから情報を送ってもらい放映するなど、火事の情報や役立つ情報を市民のみなさまに展開していきたいと考えています。

(KGC) 2年前、関東・東北豪雨災害があり、本社がある栃木市の巴波川が氾濫し、二千世帯を超える住宅が床上・床下浸水しました。その時本社では、緊急取材班を組み、タイムリーに情報をライブで放送しました。古河ケーブルテレビでも同じ体制を組み、古河市様とは古河市防災協定のご協力をお願いしたいと思います。住民の安心・安全と、この地域で何が起きているかを知ってもらうことが大切だと考えています。

(委員) 「週刊古河タイム」を視聴したが、太鼓の放送をしていた。地域ごとの団体がやっていると思うが、もう少し長く流れるといいのでは。

(KGC) 「週刊古河タイム」では収録したものを短い時間に編集したニュースとして放映しました。長時間の番組「まるごとKOGA」で2時間放映し、全団体の演奏をノーカットで放映しました。

(委員) 全部の団体が見られるのは、非常にいいと思う。

(委員) 現在のコミュニティチャンネルは放送時間が毎日同じである。タイムラグがあると思う。視聴者はだいたい見る時間が同じではないか。見るたびに運動会、卒業式しかやっていたなかった。

(KGC) 現状のコミュニティチャンネルの課題です。今年度中に新しい番組放送機器の導入を検討し、お客様に楽しんでいただける編成にしていきます。

(委員) 古河花火大会は全部放送したのか。

(KGC) 市内で契約していただいているご家庭を始め、近隣の結城ケーブルテレビ、筑西ケーブルテレビ、栃木ケーブルテレビ、館林ケーブルテレビ、そして全国のケーブルテレビ局約100局に向け生放送しました。課題として、花火だけだと単調になってしまうため、今後は古河の花火の歴史などを紹介していくことも検討します。

(委員) 以前コミュニティチャンネルを見た時は、ショッピングチャンネルばかりだった。

(KGC) 10月からコミュニティチャンネル100%の編成(6:00~24:00)にしました。現在は夜中の0:00~6:00を除く時間はショッピングチャンネルを放送しておりません。

(KGC) 今後は地元の商店、企業様に今まで以上にお声かけをしたいと考えています。地域にあるお店のコマーシャルはコミュニティチャンネルの一部と位置づけ、皆様になじみのあるお店が映ることで楽しい思いになっていただけると考えます。皆様に地元のお店にどんどんきていただき地域の活性化に貢献して参りたいと思います。